

授業科目名	子どもと表現（体育）(2100226)		
時間割名	子どもと表現（体育）(12105)		
時間割担当	森一弘		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	月・2		

授業の目標・概要

幼児期における身体表現は、豊かな感性を養い、想像力を高め、情緒の安定につながる。指導者は音楽やリズムに乗って、幼児がのびのびと体で表現できるように、まずは自らが豊かな感性を養うことが必要である。そのために、指導者自身がリズムに合わせて自由に表現できることである。その上で幼児が身体表現運動の楽しさを体感できるような指導・支援方法について学び、それを生かした指導案作成を行い、それによる模擬授業も行う。

学習の到達目標

- ・豊かなリズム表現ができる身体づくりと感性を養う。
- ・幼稚園教育要領に則って指導計画を立てて模擬授業をするなど実践力を身につける。

授業方法・形式

- 1.それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら、実践的に学びを深める。
- 2.必要に応じて、取り上げるテーマに関する演習を行う。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション：授業の進め方。領域「子どもと表現」について。
- 第2回 既成作品の模倣：既成作品の模倣を通して、身体表現について知る。
- 第3回 既成作品の発表：グループに分かれ、既成作品の発表を行う。
- 第4回 リズミ的な表現の基本（基礎）：リズムの取り方、カウントの数え方、ステップ。
- 第5回 リズミ的な表現の応用（即興）：即興表現を行う。
- 第6回 リズミ的な表現の創作：グループに分かれて、創作活動を行う。
- 第7回 中間発表会：グループで作成したリズミ的な表現の発表会を行う。
- 第8回 発表会の振り返り：VTRによる発表会の振り返りを行う。
- 第9回 幼児にとっての身体表現：発達段階に合わせた身体表現について学ぶ。
- 第10回 伝承遊び：日本の伝承遊びを通して、身体表現を行う。
- 第11回 指導計画と指導案作成：身体表現を行う活動の指導計画と指導案の作成を行う。
- 第12回 模擬授業演習(1) 年少の発達段階に応じた「劇あそび」や運動会種目の指導方法
実際に学習指導案を書いて模擬授業を行う。
- 第13回 模擬授業演習(1) 年中の発達段階に応じた「劇あそび」や運動会種目の指導方法
実際に学習指導案を書いて模擬授業を行う。
- 第14回 模擬授業演習(1) 年長の発達段階に応じた「劇あそび」や運動会種目の指導方法
実際に学習指導案を書いて模擬授業を行う。
- 第15回 授業の総括としてこれまで身につけたことについてまとめ、実技試験を行う。

成績評価の基準

毎回の授業中に行う小テストと小レポートを中心に評価し、理解度をチェックする。(30%) さらに、授業内での演習・取組などなどを評価する。(30%) また、学期末テストにおいて、総合的な理解を確認する。(40%)

授業時間外の課題

1. 講義において取り上げた身体表現について、自ら練習しておく。
2. 表現の工夫を考えてくる。
3. 『幼稚園教育要領』を参照し、指導内容を確認し、学習指導案作成の際に活用する。

メッセージ

本講義は、子どもと表現B、Cと連携を図り、受講学生の表現力の育成をより豊かなものできるように配慮する。子どもと健康において学んだ知識を活用できるようにも配慮する。

教材・教科書

授業中に指示する

参考書

文部科学省 幼稚園教育要領